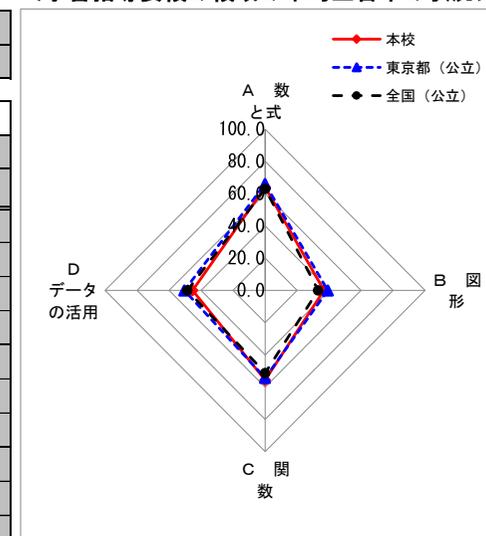


・以下の集計値／グラフは、令和5年4月18日に実施した調査の結果を集計した値です。

集計結果

対象生徒数		江戸川区立松江第一中学校	東京都（公立）	全国（公立）	
		200	71,470	893,114	
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			本校	東京都（公立）	全国（公立）
全体		15	53.0	54.0	51.0
学習指導要領の領域	A 数と式	5	64.0	66.0	63.0
	B 図形	3	36.8	39.2	33.2
	C 関数	4	55.6	54.3	51.2
	D データの活用	3	45.3	50.4	48.5
評価の観点	知識・技能	10	55.7	58.7	55.7
	思考・判断・表現	5	46.4	45.8	41.6
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	4	44.8	48.5	45.3
	短答式	6	63.0	65.5	62.6
	記述式	5	46.4	45.8	41.6

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



現状把握（調査問題から見た課題）

- ・A数と式は、都平均を下回ったものの本校との差は2%となっている。また、C関数は都平均を上回っており、昨年度からの改善がみられる。学習習慣の定着や毎授業の計算練習などの結果が表れていると考えられる。
- ・B図形とDデータの活用は都平均を下回ると同時に、昨年度と比べても正答率が下がっている。計算等の基礎基本の学習内容に比べて、生徒が振り返る機会を作れていなかったことに課題と考える。

指導改善のポイント

- ・家庭学習への取り組みを昇華させる必要がある。自由に課題に取り組むばかりでなく、自身の課題を確認し狙いをもって学習に取り組むことができる活動が有効だと考える。
- ・そのためには、定期考査の振り返りや日々の授業の躰き、課題への取り組み方を丁寧に確認していくことが必要である。